

S.M.C

Shizuoka Medical Communication

認定

医療系大学間共用試験実施評価機構は、OSCEに参加する模擬患者の標準化を目的として認定制度を設けました。静岡医療コミュニケーション研究会は、標準模擬患者養成団体として2023年6月に正式に認定されました。現在、16名の会員が共用試験医学生臨床実習前OSCE認定標準模擬患者（医療面接担当）として活躍しています。

市民公開講演会

「口腔ケアで健康に！ ～お口と身体の関係～」

毎年恒例の市民公開講演会もコロナ禍のため中止していたが、令和6年2月18日、5年ぶりに開催することができた。今回は、静岡県立大学短期大学部歯科衛生学科准教授の長谷由紀子氏を講師に迎え、口腔ケアの話を行った。

まず、講演の序盤で、主な疾患の総患者数の上位に①高血圧疾患②歯科関連疾患が上がっていることを知り、歯の大切さを痛感した。

歯科衛生士の教育は1949年から始まった。当初は歯科診療の補助を主な業務としていたが、現在では口腔疾患の予防・治療、全身の健康・QOLの向上の支援まで多岐にわたり、社会的役割を担っている。

むし歯、歯周病予防についても、スライドを見ながら分かりやすい説明があった。歯周病菌の感染が全身に広がって、脳血管疾患、心臓病、肺炎、糖尿病、認知症などに関連することを様々な角度から解説してもらい、口腔ケアが身体とどれだけ深い関係にあるかを学んだ。むし歯や歯周病菌による感染症を予防するには歯科を定期的に受診し、個人個人にあった口腔健康指導が必要となる。そのためには、

歯科医師とMy歯科衛生士に生涯を通じて支援してもらうことが大切である。

会場からは、歯科受診の仕方について、歯ブラシの選び方、歯磨きの仕方など熱心な質問があり、有意義な講演会となった。

2月としては気温も上がり講演会日和で多くの皆さんに来ていただけると期待していたが、来場者は少なかった。とても勉強になった講演会だっただけに残念に思えた。どうしたら多くの人に集まってもらえるかが今後の課題である。（山田）



※SPとは・・・

SP（エスピー）は本物の患者と同様の演技ができるように訓練された人のことで、一般模擬患者：Simulated Patient と標準模擬患者：Standardized Patient に分類されます。一般模擬患者は学生や医療者の演習やトレーニングで研修者の相手をします。標準模擬患者は試験や評価（OSCE など）に用いられます。

※OSCEとは・・・

客観的臨床能力試験：Objective Structured Clinical Examination の略です。OSCE（オスキー）は、日本の医学部、歯学部、獣医学部、薬学部6年制課程の学生が臨床実習に進むために合格しなくてはならない試験の一つです。医学部では、臨床実習に出る前に行われる“臨床実習前OSCE”と臨床実習終了後に総合的臨床能力を評価する“臨床実習後OSCE”の2種類があります。

静岡市保健所主催 医療コミュニケーション研修会

【静岡市静岡医師会】

理事 坂ノ上 政綱

「人生会議」は、個人や家族が一生の終わりに向けてどのように生きるか、どのような医療を受けるかを考えるプロセスです。このロールプレイを通じて、人生の最終段階での選択が、単に医療的な側面だけでなく、個人の尊厳や価値観に深く関わっていると感じました。

まず、患者とその家族に対するコミュニケーションが極めて重要であることが認識されます。終末期における治療方針を決定する際には、患者の意志が尊重され、それに基づいて支援が行われるべきです。このプロセスでは、患者自身の生きがいや希望、恐れや不安に対して、オープンな対話が求められます。

精神科医としての観点から、患者が直面するかもしれない不安や抑うつを軽減するためのサポートも重要と考えます。患者自身や家族が情緒的にどのように反応するかを理解し、適切な精神的サポートを提供することが、良質なケアの一環となるでしょう。

今回のロールプレイは、医療提供者にとっても大きな学びの場となったことと思います。患者一人ひとりの価値観や希望に耳を傾け、それを尊重する姿勢が求められることを、改めて実感することができ

ました。人生の最終段階での選択を支援することは、技術的なスキルだけでなく、深い共感と理解を必要とするため、精神科医としても大いに反省し、学びがある経験となりました。

今後、さらなる高齢化が進み、医療や介護への期待や負担が大きくなる中で、この「人生会議」を行うことは非常に有意義な機会であると考えます。しかし、現実的には参加者のスケジュールリング、時間や場所の確保、費用などの経済的側面など困難が伴います。これらの負担をいかに軽減し、システム化していくことができるか、それが一つの課題であると考えました。



【つばさ静岡】

生活支援員 野崎 悟

私は今回、職場の医療コミュニケーション研修に参加しました。ロールプレイングの内容は、施設入所している40歳の男性利用者が誤嚥性肺炎を経験し、嚥下機能の低下も認められ医師から胃瘻造設を勧められた、というもので、説明に同席した生活支援員の役を演じました。

母親から、以前にも尿路感染を繰り返し尿路結石ができて膀胱瘻を作る手術で辛い経験をさせたことや食事が大好きだということを聞き、母親の息子への思いに触れることができました。

ロールプレイング後、同僚職員から母親の話に傾聴はできていたとの評価をもらいました。私は母親の思いを尊重し、胃瘻造設ではない方法を提案し、母親も納得していました。この提案を振り返ると、ご家族にとっては胃瘻造設をしないことで利用者様の苦痛もなく、ご家族にとっても安心できる選択かもしれません。しかし、利用者様のこれからの生活を考えると、体調が良い時は口からご飯を食べ、体調が思わしくない時は胃瘻から栄養を摂るという方

法を丁寧に提案することが、ご家族にとっても安心していただける方法ではないかと気づきました。

今回の研修で明らかとなった課題を改善し、利用者様やご家族に安心していただけるよう、日々の支援に生かしていきたいと思います。

看護師 前田 詩織

今回の研修会に参加し、コミュニケーションとは難しいものだと改めて実感しました。特に医療となると、言葉や知識などが専門的になり、相手への伝え方がより一層大事になると痛感しました。ロールプレイを通して同じ場面設定でも話し方一つで会話の雰囲気の違いが出ることに驚きました。自分の話し方の特徴や今後工夫した方がいい箇所を学ぶことができました。また、生活支援の現場では、医療的会話だけでなく今後の生活を見据えた話し合いも大切だと感じました。そのため、日頃からの信頼関係を築くことが重要であると再認識できました。今回の研修で学んだことを生かして、今後もコミュニケーションスキルを磨いていきたいです。

【静岡済生会総合病院】

医療秘書課 小澤 麗

私は外来の医療秘書として普段から患者さまに接しているので、コミュニケーションをとることは日々とても大事にしております。今回の研修会はとても興味があり、受講を楽しみにしておりました。

研修会が始まり、ロールプレイングでは急遽普段の業務とは異なる救命救急センターの受付事務役をやることになりました。とても不安でしたが、普段から急な対応をしなければならないことは多々あるので、普段通り対応することを心掛けてセッションを行いました。

患者さまとそこご家族の待ち時間に対する不満や病態に対する不安な気持ちを傾聴・共感し、その気持ちに寄り添うことで、少しでも患者さまが持っている「負」の気持ちを取り除いてあげられるよう対応したつもりでしたが、自分の中では、それがちゃんとできていたのかとても不安でした。次に行ったグループのロールプレイングを見て、自分ができていなかった対応や足りない部分を再確認することができ、とても良い経験になりました。

研修後、ファシリテーターの方や参加者の方から、

たくさんのお褒めの言葉をいただき素直にうれしく思いました。不安でしたが、自分では意識していなかったことも普段からできていたんだ、自分の対応は間違っていなかったんだと安心すると共に自信にも繋がりました。

今回の研修で学んだことを意識し、今後も安心・信頼していただけるよう忙しい中でも丁寧な対応とコミュニケーションを心掛けたいと思います。そして、もっと多くの方に当院を好きになってもらえるよう、日々努力したいと思います。



SPデビューしました！

普段は歯科衛生士養成校の教員をしており、SPさんには学生とのロールプレイを依頼する立場です。今回はSPとしてシナリオと患者背景を理解して、先生方との打ち合わせを行い、当日を迎えました。今回は臨床実習前OSCEで学生さんの緊張感やこれまで練習を重ねてきたことが直に伝わり、私たちSPも「しっかり役作りをして準備を怠らないようにしなければ」と感じました。今後、臨床現場に出て、様々な患者さんや指導者とのコミュニケーションを介していろんな経験をしていく学生さんたちのお役に立つことができれば嬉しいです。今回SPの立場で参加させていただき、医療コミュニケーション教育の大切さを改めて実感することができました。
(長谷)

「病院を受診後、処方された薬を薬局へ受け取りに来た」という設定で、初めて模擬患者を演じました。薬局の窓口での場面では、学生さんの緊張が伝わってきて、私も思わず緊張してしまいましたが、ひと呼吸おいて役に徹するよう自分自身に言い聞かせました。一人一人の学生さんが実力を発揮できるように役割を果たすことが大切だと実感した瞬間でした。

事前の練習会で模擬患者の役割を学びロールプレイを重ねて練習してきましたが、学生さんたちの真摯な姿勢に接し、学びをより深めていきたいと思いを新たにいたしました。貴重な経験をさせていただき感謝いたします。
(村上)

街がやわらかなピンク色に染まる桜の季節に入会し、黄金色の銀杏並木の美しい秋に模擬患者デビューとなりました。

事前にもらった課題の二回の練習で、改善点を確認し当日を迎えました。本番では、学生さんたちの緊張感が伝わって来ました。彼らにとっては人生においてただ一度きりのこと、私は模擬とは言え最初の患者です。私がミスをすると学生さんを困惑させてしまうので、気が引き締まります。みなさんは合格点をもらえたでしょうか。私も採点が欲しいくらいです。

一日かけての模擬患者デビューでしたが、終わってほっとすると同時に充実感を味わいました。外灯の明かりを浴びてキラキラと輝く銀杏がごほうびでした。
(阿部)

令和5年度 SMCの活動

開催日		活動内容
令和5年5月21日	日	令和5年度総会
5月26日	金	第85回医学教育セミナーとワークショップへのリモート参加
7月8日	土	浜松医科大学医学部 臨床実習後OSCE（医学科6年）へのSP派遣
8月23日	水	SMC第25号発行
8月26日	土	静岡県立大学「CRC/CRA養成講座」への講師およびSP派遣
9月3日	日	SMC研修会
9月27日	水	静岡県立大学薬学部1年 臨床薬学演習へのSP派遣
10月19日	木	保健所主催の研修会への講師およびSP派遣（静岡済生会総合病院）
10月24日	火	保健所主催の研修会への講師およびSP派遣（つばさ静岡）
11月11日	土	浜松医科大学医学部 臨床実習前OSCE（医学科4年）へのSP派遣
11月11日	土	認定標準模擬患者パフォーマンス評価（2回目）受審
11月28日	火	保健所主催の研修会への講師およびSP派遣（静岡市静岡医師会）
12月9日	土	静岡県立大学薬学部OSCE（薬学部4年）へのSP派遣
12月14日	木	静岡家庭医養成プログラム（浜松医大総合診療プログラム）OSCEへのSP派遣
12月18日	月	静岡県中部看護専門学校OSCE（看護学科3年）へのSP派遣
令和6年2月18日	日	SMC主催 市民公開講演会 講師：長谷由紀子氏 演題：口腔ケアで健康に！ ～ お口と身体の関係 ～
3月12日	火	静岡家庭医養成プログラム 模範医療面接撮影へのSP派遣
3月15日	金	医学系OSCE模擬患者団体向け全国説明会へのリモート参加
月1回	日	定例会（静岡市中央福祉センター）

SMC研修会

令和5年9月3日、まだ猛暑の続く中、岐阜大学医学部 藤崎和彦教授による研修会が開かれました。幾度となく学習と経験を重ねても奥が深く難しい医療コミュニケーション。この研修会は医療コミュニケーションの現状を学び、SMCに課せられている役割を再認識して、繰り返しスキルを学び直し成長できる機会です。今回は「コミュニケーション教育におけるSPとファシリテーターの役割」と題して、SPとファシリテーターのフィードバックのポイントについて教えていただきました。フィードバックは、一期一会の関わりの中で医療面接を振り返り、学習者の学びの栄養となる情報を言語化し伝える事です。医療者と患者との会話は、対峙する時にはすでに医療者側に優位性があります。患者の思いを汲み取り本音を引き出すには医療者側にスキルが必要であり、そのスキルを磨く練習の場を通してSPとファシリテーターは学習者の土台となり、医療者はスキルを修得できます。実際に活用するには理解していても応用が効かず、速攻性は求められません。独りよがりでない医療コミュニケーション

ンスキルを会得することはとても難しいと、現在も痛感しています。

研修先の依頼で作成したシナリオに沿って、3課題のロールプレイを実施し、SPとファシリテーターへの適切な助言を頂きました。そのシナリオの1つに、厚生労働省が普及・啓発を行っている『人生会議』をテーマにしたものがありました。私たちにとっても初めての試みなので、研修会当日、どのように展開していくのか注目したいと思います。

先生からシナリオとの整合性、適切なフィードバックやSPの役作り等のアドバイスをいただき、会員達とも活発な意見交換ができて充実した研修会でした。近年、新加入の仲間も増え、会員それぞれの向上心が会の更なる発展に繋がることと信じています。（赤堀）

『人生会議』ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは、人生の最終段階に向けて患者さんご自身が望む医療・ケアに関する事を、ご家族、医療チームとあらかじめ繰り返し話し合い共有するプロセスのことです。

【連絡先】 静岡医療コミュニケーション研究会 代表 鈴木 崇代

〒420-0961 静岡市葵区北 3-29-27 TEL 070-1687-2466 E-mail: smc1999sp@gmail.com

SMC ホームページ URL <http://www.smc-jp.com/>